

# 難波 抱節

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区御津金川600	
		 <p>岡山歴史散歩 ー上たの歴史を知らー</p> <p>難波抱節</p> <p>江戸時代後期に前名の名匠と譽われていました。</p> <p>難波抱節は、寛政3年（1791）に生まれ、15歳の時に備前岡山藩家老日蓮宗の侍医・藤原立庵の養子となり、21歳から京都、和歌山、大坂で絵巻・内科、麻酔薬による手術法や漢学を学びました。25歳で重川に帰郷し『出雲草紙』を開成すると、全国から門下が集まりました。天然痘の予防に際力することになり、コレラの診察・治療に西学専攻しましたがこれに感染、69歳で生涯を終えました。</p> <p>医療先進地と譽れる岡山県では、今でも抱節の「道は仁術」という教えが生き続けています。</p> <p>岡山県立 岡山県立美術館 1941</p>

# ラジオ塔

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区津倉町1-9 上伊福西公園	
 <p>津倉稲荷別院 津倉変電所 津倉町2 津倉町1 PASCO iPC</p> <p>凡例 ✕ : 設置位置</p>		 <p>岡山歴史散歩 一歩の歴史を知る</p> <h2>ラジオ塔</h2> <p>昭和17年（1942）頃、ラジオ普及のために設置されたものですが、後継機の放送機や当時の生活とラジオとの関係を物語る貴重な遺産です。当時は戦時高揚のための戦争報道や、将校としてスポーツ中継や音楽などが放送され、放送中は周りに人だかりがでるほどの賑わいがあったようです。</p> <p>その後、家庭内ラジオが普及したため存在が忘れられていたが、平成27年（2015）に地域住民が再発見し、津倉町町内会が改修を行いました。現在、町内会では夏休み中のラジオ体操やお月見茶会など、ラジオ塔を積極的に活用する取り組みを行っています。</p> <p>岡山市北区津倉町1-9</p>

# 富山城跡

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区矢坂本町13-24	
 <p>凡例  <span style="color: red;">✕</span> : 設置位置</p> <p>岡山市北区 矢坂本町          岡山管工設備工業</p> <p>11 12 13 14 15 16 17 18 19 20</p> <p>PASCO IPC</p> <p>20m</p>		 <p>岡山歴史散歩 15分のお楽しみ</p> <p>富山城跡</p> <p>富山城跡</p> <p>富山城跡は、岡山の平地の西端に位置して、この地域の要衝をなす矢坂山の山頂には、平安時代の築城伝承のある富山城が構えられていました。</p> <p>この山城は、南北朝時代（14世紀）に権力を舉げて豊前県に当地を併せて、到来した関東武士の松田氏が築城してから、江戸時代初期（17世紀初期）に唐館になるまで、常に「所領国の城」（戦略的要衝）とされていました。</p> <p>戦国時代末期には、備前国の戦国大名の中宮多賀家と毛利氏との抗争で、前線の前哨地点となつて重要な役目を果たしています。</p> <p>戦時国庫の地構えは、石垣の上に土蔵造りの建物と土塙が立ち並び、江戸時代の城郭と同じような様相となっていました。</p> <p>岡山市</p>

# 【大安寺】の地名の由来

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区大安寺西町4-5	
 <p>凡例   : 設置位置</p>		 <p>岡山歴史散歩 一まじの歴史を知る</p> <p>【大安寺】の地名の由来</p> <p>大塚山南側の山麓一部は、古代には古墳の穴窟と呼ばれた入海の、干潟のある海辺の土地であった。奈良時代（8世紀）に、朝廷（政府）が民間開墾の土地の開発を認めようになると、郡の有力寺院の大安寺がこの地の干拓を手掛けて荘園にしました。</p> <p>干拓地は、50町（約50ヘクタール）の広さがありましたが、大部分が未開地であり、田畑は一部分でしかありませんでした。</p> <p>その後干拓が進み、一帯的な田地となり、村落もできるようになると、荘園領主の大安寺が地名や村名となりました。</p> <p>岡山市史、岡山市史を編む会刊 P.111</p>



# 盲啞学校跡

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区番町1丁目14-9	
		 <p>岡山県における障がい児教育の先駆けとなった施設です。</p> <p>明治41年(1908年)11月、一帯町の岡山縣教育會館内に私立岡山縣教育會館盲啞院として開校しました。その後、明治43年(1910)4月には私立岡山盲啞學校へ、昭和2年(1927)4月には県営に移管したことで岡山県盲啞學校へと改称を重ね、同年5月には北方へ移転しました。昭和23年(1948)には、盲学校・聾学校教育の義務化に伴い、西吉松で岡山盲学校と岡山聾学校に分離しました。</p> <p>その後、岡山盲学校は昭和27年(1952)に、岡山聾学校は昭和47年(1972)に現在地に移転し、以降、現在まで岡山県の盲・聾教育の専門機関として、大きな役割を果たし続けています。</p> <p><small>(情報提供: 岡山市北区西地区連合町内会 岡山市)</small></p>
<p>凡例</p> <p> : 設置位置</p>		

# 番町武家屋敷・疎開道路

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区番町2-1 北消防署番町分署前南西角	 <p>岡山藩七代目 二王の歴史を伝える</p> <p>番町武家屋敷・疎開道路</p> <p>下級武士の宿舎町で、東から西へ一番町から八番町までありました。</p> <p>番町から五番町までは徳川初期（1596～1615）から次第に町筋整にはり、古名「伊勢宿前町」と言いました。六番町・七番町は寛文8年（1668）に、八番町は元禄年間（1688～1704）に出来た。現在の岡山地力藩所領りが七番町・法務同舎同舎者辺りが八番町でした。</p> <p>現在は道路拡充により一番町から六番町までが残り、江戸時代以降から残る歴史の古い町筋や区画をほぼ残しています。第二次世界大戦中には、空襲による延焼防止のために家を強制撤去し、番町を中心に東西に走る広い街開道路が建設されました。</p> <p>（情報提供 岡山県立歴史民俗学館） 岡山市</p>
 <p>凡例   : 設置位置</p>		

# 庭瀬陣屋町

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区庭瀬566-1付近	



# 松林寺

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区庭瀬707付近	
<p>凡例  <span style="color: red;">✕</span> : 設置位置</p>		<p><b>松林寺</b></p> <p>松林寺は旧藩政・東洋寺の寺域で、本尊として地蔵菩薩を祀っています。</p> <p>延暦2年(1339)、東福寺から興隆(豊後県)の福壽寺に田かれた利博(大塚)の地蔵(松林)が、本尊として祀られた。この地蔵菩薩の像は、本尊として祀られた。この地蔵菩薩の像は、本尊として祀られた。</p> <p>明治時代には、伊勢神宮へ奉祀したことから、境内に「伊勢大百尊大神宮」と改称し、本尊として上記の神像(伊勢大百尊)を祀りました。</p> <p>宝暦元年(1751)、讃岐県中津の地蔵菩薩(松林)が奉祀し、神像を以て、「松林地蔵菩薩」と改称したと傳われています。</p> <p>元禄15年(1702)、十住山(山崎)の時、地蔵菩薩(松林)の管理となり、境内を以て現在の形に改められた。寺内に「伊勢大百尊」の「伊勢大百尊」があり、重要文化財として、県立博物館に所蔵されています。</p> <p>岡山市北区 庭瀬 707 付近</p>



# 市川喜左衛門生誕地

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区芳賀5111-22付近	
<p>凡例  <span style="color: red;">✕</span> :設置位置</p>		<p>岡山歴史散歩 一歩の歴史を知らるー</p> <p>市川喜左衛門生誕地</p> <p>日本で最初のキリシタン殉教者です。</p> <p>天文2年(1533)、市川喜左衛門は上芳賀で生まれました。堺の商家に奉公し、布教活動を行っていましたが、豊臣秀吉のキリスト教弾圧により追放されました。「はだし」で京都から長崎まで、880kmを28日間歩かされ、慶長2年(1597)2月5日、長崎西坂で処刑されました。</p> <p>文禄2年(1862)、ローマ法王により聖人に列せられ、「聖ディエゴ喜左」として日本26聖人の一人となりました。年齢は64歳で、最年長者でした。</p> <p>喜左衛門の死後、上芳賀の人々は丘の上にあった集岩を「天主岩」や「やこぼさん」と呼び寄っていましたが、昭和33年(1958)、地元有志によってこの岩の上に墓が建てられました。</p> <p>墓は向かいの山の中にあり、春になると桜に包まれます。</p> <p><small>情報提供: 株式会社源和(株) 岡山</small></p>

# 林原古墳群

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区牟佐1750付近	
		<p>岡山歴史散歩 - 土佐の歴史を知る -</p> <p>4 7 5 0 3 4</p> <h2>林原古墳群</h2> <p>6世紀後半から7世紀前半頃にかけて築造された古墳群であると考えられています。118基の古墳が確認されており、朝鮮半島から伝えられた横穴式石室も見られます。このうち、製造が行われてきた5号墳、6号墳（いずれも仮称）からは、高や蓋などの須恵器やガラス小玉や水滸丸玉などの装身具、鉄や鉄などの鉄製品が出土しています。</p> <p>当地に多くの古墳が見られる理由として、厳しかった瀬川の水道が影響しているとも考えられています。</p> <p>（岡山県 文化財課） 2016</p>
<p>凡例</p> <p> : 設置位置</p>		

# 牟佐渡場

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区牟佐1595付近	
		 <p>岡山歴史散歩 ふるさとの歴史を知ろう</p> <p>岡山県 岡山市北区</p> <h2>牟佐渡場</h2> <p>古代から近世まで、牟佐渡場は陸路と水路が交差する交通の要衝で、山陽道や倉敷往来の渡船場・宿場町として、船着所や旅館、土産物、雑貨等の店が軒を連ねていました。当地は現在も「渡場」と呼ばれており、残っていた当時の店の名称などが民家の屋号として遺跡残っています。</p> <p>平成27年度岡山市区づくり推進事業「古代山陽道の道元と伝承」では、牟佐町内会がこれら进行调查し、記録として残す取り組みを行いました。</p> <p>情報提供：牟佐町内会 岡山市</p>

# 前原池北古墳

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区牟佐2945-26付近	※提案者の要望により、絵図等は記載しない
		<p>岡山歴史散歩 ー11の歴史を歩くー</p> <p>前原池北古墳</p> <p>6世紀後半に築造された横穴式石室の古墳で、若地池成の時に発見されたものです。横穴式石室は、5世紀に朝鮮半島から伝わった古墳の構築様式で、埋葬のための石積みの部分に入りできるようにしています。この地域の有力者の一墓が葬られたと考えられています。現在、石室内は土砂で埋没しており、見ることはできません。</p> <p>(情報提供: 岡山市内史 岡山市)</p>
<p>凡例</p> <p> : 設置位置</p>		



# 尾上車山古墳

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区尾上1124付近	 <p>岡山歴史散歩 -1-の歴史をたぬ-</p> <p>尾上車山古墳</p> <p>古墳時代前期後半（四世紀後半）に築かれたと推定される、全長135mの大型前方後円墳です。後円部の墳丘がぐるぐると開鑿されていたため、地元では「ギリギリ山古墳」とも呼ばれています。築造当時は、尾上と本佐との間の海城を越下に見ることができる要害で、内海に面していました。この海城を支配していた大首長の墓と考えられており、墳丘上では埴輪も出土しています。昭和47年1月に国の史跡に指定されました。</p> <p>(岡山市北区尾上1124)</p>
 <p>凡例   :設置位置</p>		

# 中山茶臼山古墳

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区尾上 大吉備津彦命御陵付近	
<p>凡例   : 設置位置</p>		<p>岡山歴史散歩 一上りの歴史から</p> <p>中山茶臼山古墳</p> <p>古墳時代前期（4世紀頃）に築かれたと推定される、全長105mの大型前方後円墳です。宮内庁により、西道程塚として大和から運送された「吉備津彦命」の墓と指定されています。本古墳は前方部の長さが短いことが特徴で、2010年の宮内庁による測量調査では、墳長が105m、後円部径は長軸で68m、短軸で64m、前方部前幅幅が約45m、後円部前部と前方部頂部の比高差が6mとなっています。また、墓域からは特殊高台形地輪が出土しています。</p> <p>（調査協力：吉備文化センター）          岡山県</p>

# 庭瀬往来

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区平野238-1付近	
 <p>凡例  <span style="color: red;">✕</span> : 設置位置</p>		 <p>岡山歴史散歩 17の歴史と文化</p> <p>庭瀬往来</p> <p>備前岡山(岡下)から備前・笠原・基成・正虎を経て、備前へ入る新江崎六段道の一つ、「備前往來(備前中街道)」の一部でした。</p> <p>江戸時代の人々は、井山間の庭瀬川で橋を架け、新江崎を渡り、新江崎(備前上原の町)まで渡渉していました。</p> <p>備前岡山間は、備前川の沿道方向に本陣大邸を主とする「本陣邸」を建てました。寛政12年(1699)に入府した新倉氏は、寛政4年(1792)に備前新倉家を築き「備前新倉」を創設しました。文政6年(1823)には新倉「新倉邸」が建てられました。本陣の頃の庭瀬川の一角が住居地であったため、伊賀のたぬきの「庭瀬宮」があります。</p> <p>平成27年(2015)に、備前新倉邸(旧本陣邸)を、備前(庭瀬)の役割を果たしています。</p> <p>1 備前新倉 2 備前新倉大邸 3 備前新倉</p>

# 陣屋町足守の成り立ち

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区足守979	 <p>岡山歴史散歩 - 陣屋町足守町まみめぐり-</p> <h2>陣屋町足守の成り立ち</h2> <p>足守町は、関ヶ原戦後の慶長6年(1601)、豊後赤松の正室ねねの兄・赤松重家がこの地に2万5千石の領地を与えられたことに始まります。</p> <p>大坂夏の陣後は、豊臣家を滅ぼした徳川政権のもと、約260年続いた江戸時代を生き抜いて明治維新を迎えています。</p> <p>陣屋町の整備は、延享3年(1686)までには完成していたと考えられています。</p> <p>藩主の居館や通戸を中心に、これを取り囲むように武家屋敷が建ち並び、武家屋敷の東側にある二つの門により町界と区別されていました。</p> <p>現在の町並みは、ほぼ当時の陣屋町の輪郭を引き続き、近世陣屋町の風情を色濃く残しています。</p> <p>岡山史 Ookayama City</p>
 <p>×:設置位置</p>		



# 近水園

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区足守803	
		<div style="background-color: #4a4a4a; color: white; padding: 5px;">  岡山歴史散歩 - 津屋町足守町まめぐり -         </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>近水園</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>宮地山を背景に、足守川の水を 引き入れて造られた池泉回遊式 庭園です。</p> <p>築庭時期は定かではありません が、18世紀初め頃と推測さ れています。</p> <p>池のほとりに建つ吟風閣は、 足守藩6代藩主自定が京都の仙 洞御所の建築を行った際の残材 を使用して建てられたと言われ ています。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>Omizuen Garden</p> <p>This garden, featuring a path around a pond, was built by pulling in Ashimori river water with Mt. Miyaji on the back. The construction date is unknown, but it is speculated that the garden has been built at the beginning of the 18th century.</p> <p>The Ginpukaku pavilion standing by the pond is said to be built by left-materials which Kinsada, the 6th generational head of the Ashimori Domain, used to build the Sento Imperial Palace in Kyoto.</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>岡山市 Okayama City</p> </div>

✕: 設置位置

# 木下利玄の生家

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区足守801	
		<p><b>岡山歴史散歩 - 陣屋町足守町並みめぐり -</b></p> <p>きのした り げん <b>木下利玄の生家</b></p> <p>白樺派の歌人・木下利玄は、明治19年(1886)1月1日に足守藩13代藩主利恭の弟利永の次男としてこの家に生まれました。</p> <p>4歳の時に伯父・利恭が亡くなると、木下宗家の養嗣子となり、家督を継ぐため上京しました。</p> <p>この建物は、屋形橋の一部であることが明らかになっています。</p> <p>生家の前に建つ土蔵付長屋門は後に移築されたものですが、昭和57年(1982)に蔵から豊臣秀吉の関白叙任書などが発見されました。</p> <p>Birthhouse of Kinoshita Rigen Kinoshita Rigen is a poet of the Shirakaba School (a school of modern Japanese literature). On January 1st 1886, he was born in this house as the second son of Toshinaga. Toshinaga is the younger brother of Toshiyasu, the 13th generational head of the Ashimori Domain. At four years of his age, his uncle Toshiyasu died, and Rigen was adopted by the family soke (the head of the kinsmen) and moved to Tokyo in order to succeed the House of Viscount Kinoshita. It has been found that this house had been part of a yakatagamae (castle). The terraced house with gates and a warehouse standing in front of the birth house was reassembled afterwards. In 1982, valuable documents about the Toyotomi family, such as Kampaku (chief advisor to the Emperor) investiture certificate of Hideyoshi, were discovered from the warehouse.</p> <p>岡山市 Okayama City</p>

# 旧足守藩侍屋敷

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区足守752	



# 旧足守商家藤田千年治邸

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区足守916	
		



# 観世音石仏（持宝院）

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区立田835	
		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>観世音石仏 (持宝院)  <small>岡山歴史散歩 一帯の歴史めぐり</small></p> </div> <div style="text-align: center;"> </div> </div> <p> <small>観世音石仏 (持宝院)</small>  <small>岡山歴史散歩の各所には、自然石の平坦面に地盤形を主体に一部半円形を用いた素朴な造形の石仏が分布しています。同様の石仏は、北は岡山市北区立田、東は赤松市にも認められ、地蔵信仰の石仏です。持宝院境内の観世音石仏。または十二観音尊と呼ばれる石仏には、「天文十三年三月廿日 福徳寺文藏入」という銘文があり、立田地区内の平山にあった福成寺の僧が建立したことがわかります。そのため、四尊の神像を有する石仏は、文興寺石仏と推定されています。石仏の多くは笠塚と隣接を持つ地蔵堂です。</small> </p> <p> <small>Kanzeon Sekibutau (Stone Buddha Statue of Kanzeon) in Jihoin Temple</small>  <small>The stone Buddha statue of Kanzeon in Jihoin Temple, also known as the eleven-face Kannon, has the inscription. It tells that the statue was built by a Buddhist monk from Fukujoji Temple located in Hirayama of Takamatsu Area, on a day of good fortune in March 1545.</small> </p> <p style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span><small>岡山府</small></span> <span><small>Okayama City</small></span> </p>

# 高松知行所跡

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区高松原古才323-34	
 <p>The map shows the location of the site marked with a red 'X' at address 323-34. Surrounding areas include Takamatsu Chigyoji (高松稲荷), Takamatsu Chamber of Commerce (高松商工会館), and Takamatsuhara (高松原). A scale bar indicates 30m. Logos for PASCO and IPC are visible at the bottom left.</p>		 <p>The information panel features a purple header with the text '岡山歴史散歩 -高松の歴史めぐり-' and '高松知行所跡'. It includes a circular logo with three stylized figures, a site plan diagram, and bilingual text in Japanese and English. The Japanese text describes the site as the historical site of the jinya of the hatamoto, Mr. Hanafusa, who was a retainer of Mr. Ukita. The English text provides the same information. Logos for '岡山市' (Okayama City) are at the bottom.</p>

# 原古才のまちなみ・松山往来（地蔵院前）

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区原古才275	
		<p>岡山市 Okayama City</p>



# 宿場町板倉

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区吉備津1109	



# 門前町宮内

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区吉備津935	 <p>The information panel features a purple header with a tree icon and the text '岡山歴史散歩 - 名物の歴史めぐり -'. Below this is the title '門前町宮内' in white on a black background. The central focus is a large, aged, horizontal photograph of a landscape with a prominent hill. Below the main photo are three smaller, square images: a pile of rocks, a night scene with lights, and a person. At the bottom, there are two columns of text in Japanese and English, followed by the text '岡山市 Ohayama city'.</p>
 <p>The map shows a green area with a blue pond and an orange stream. Landmarks include '普賢院' (Hokokuin) near a road labeled '1492', '宇賀神社' (Uragajima Shrine) near a road labeled '1493', '吉備津神社' (Kibitsu Shrine), and 'えびす宮' (Ebisu Miyabi). A red 'X' marks the location of the marker. A compass rose is in the top left, and a 30m scale bar is at the bottom right. Logos for 'PASCO' and 'IPC' are visible in the bottom left corner.</p>		

# 神領会所

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区吉備津1583付近	
		<p>岡山歴史散歩 一期の歴史めぐり</p> <p>K A S H I H A</p> <h2>神領会所</h2> <p><b>神領会所</b> 岡山県指定重要文化財の吉備津神社境内の南端と裏を挟み、江戸時代には、吉備津神社旧社務所の古い建物(長屋門)が残っています。これは、江戸時代に三代将軍徳川家光から交付された朱印状によって御朱印所となった吉備内村を支配するための会所(税務所)の跡です。会所は、神領役所ともいわれ、江戸時代の絵図によると、長屋門をくぐって広場となり、その南側に土蔵を構えていました。</p> <p>岡山市</p> <p>Jinryo Kashiho (Site of a Government Office) An old building of old shrine office of Kibitsu Shrine is left on the opposite side across the road from the southern end of corridor of Kibitsu Shrine which is Okayama Prefectural designated important cultural property. This is the the meeting place to rule Miyouchi village. Miyouchi village was gave the shogunate Ioumei by the third general Shogun Tokugawa Iemitsu in the Edo period. The meeting place is also called Shiryo priest's office. According to the picture of the Edo period, there was a square passing through Nagaya gaba, and a manhole was set up on the south side.</p> <p>Okayama City</p>

# 藤井高尚旧邸

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区吉備津1666	
		<div style="background-color: #333; color: white; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; font-size: small;">岡山歴史散歩 - 高知の歴史めぐり -</p> <hr/> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">A R T I S T I C P R E S E N T A T I O N</p> <h2 style="text-align: center; margin: 0;">藤井高尚旧邸</h2> <hr/> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;"> <p style="font-size: x-small; margin: 0;"><b>藤井高尚旧邸</b></p> <p style="font-size: x-small; margin: 0;">藤井高尚は、江戸時代後期の吉備津宮の社司で、著名な国学者であり、本居宣長の高弟でもありました。高尚は自分の屋敷を御直長の「納屋」にならって「松の敷」と称しました。中国地方をはじめ、京都、四国にも多くの弟子があり、至徳文学を継いでいます。高尚の弟子としては、横田金門、友枝三春、平井忠彦、藤谷天俊、清水宣明、平野寅らがいます。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="font-size: x-small; margin: 0;">Former Residence of Fuji Takanao Fuji Takanao was a chief Shinto priest of Kibitsunomiya in the end of the Edo Period, a notable scholar of Japanese classical literature and a leading disciple of Motoori Norinaga. Takanao called his own residence "Matsunoya" after his master Norinaga's residence "Suzunoya".</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <span style="font-size: x-small;">岡山市</span> <span style="font-size: x-small;">Okayama City</span> </div> </div>



# 栄西禅師生誕地

設置位置		表示内容
所在地	岡山市北区吉備津1453	
		<p><b>栄西禅師生誕地</b></p> <p> <b>榮西禅師生誕地</b>          昭和47年（1972年）、栄西禅師が誕生したと伝わる旧部の跡地に、地元有志が建立しました。当時は、岡山県岡山市の片山法華寺の土地でしたが、後に建仁寺に寄贈されました。正堂中央には、禅師の遺業を称する碑をお祀りし、その南側には、茶の普及・奨励に努められた功績を讃える、茶碗型の顕彰碑があります。平成26年、禅師の八百年大遠忌を記念し、建仁寺と栄西禅師信仰会と地元有志により整備され、同年3月27日、建仁寺派管長陛下を御導師に建仁寺の地蔵近末寺院の相阿闍梨や栄西禅師信仰会、地元有志、総勢約70名で落慶法要を執行了しました。現在は、岡山市北区の叡地山安養寺ご住職はじめ地元有志が大切に守られています。       </p> <p>岡山県岡山市</p> <p>岡山</p> <p>         Birthplace of Reverend Yosai          In 1972, members of the community put up monuments at the site where was said to be the birthplace of Reverend Yosai. Although the land was owned by Iyama-Hofukuj temple (soja city in Okayama prefecture), it was donated to Kenninji temple later. In the middle of the site, there is a monument in honor of Reverend Yosai and on the south side, there is a tea-bowl shaped monument for his great achievements of the spread of tea culture. In 2014, the land was maintained by the followers (followers) of Reverend Yosai and community members, as the 800th anniversary of Reverend Yosai's death. The completion ceremony was held on March 27, 2014, by the total of 70 people including the chief priest of Kenninji sect, monks of Kenninji temple's sub temples, followers of Reverend Yosai and community members. The monument is now look care by the monk of Anyoji temple (Hijikai area of Okayama prefecture) and community members.       </p> <p>Okayama City</p>



# 宗形神社古墳

平面図		表示内容
所在地	岡山市北区大窪193付近	

# 原遺跡

平面図		表示内容
所在地	岡山市北区御津宇垣1629付近	
 <p>凡例 ✕ : 設置位置</p>		 <p>岡山県史跡 一人の歴史をたどる</p> <h2>原遺跡</h2> <p>原遺跡は、岡山市北区御津宇垣にありまし た。この地域は、海を隔れる尾山と海邊から 旭川に合流する土砂川によって形成された、北 大な沖積平野から成り立っています。</p> <p>この地域の遺跡は、丸瓦土を特徴とする古 遺跡が出土したことであります。発掘調査の結 果、遺跡は縄文晩期、弥生中期・後期までの長 期にわたるもので、その範囲は35m×60mに なり、御津地域では最も広い範囲であるこ とが明らかになりました。</p> <p>原遺跡が岡山市北区御津宇垣にありまし た。この地域は、海を隔れる尾山と海邊から 旭川に合流する土砂川によって形成された、北 大な沖積平野から成り立っています。</p> <p>この地域の遺跡は、丸瓦土を特徴とする古 遺跡が出土したことであります。発掘調査の結 果、遺跡は縄文晩期、弥生中期・後期までの長 期にわたるもので、その範囲は35m×60mに なり、御津地域では最も広い範囲であるこ とが明らかになりました。</p> <p>原遺跡が岡山市北区御津宇垣にありまし た。この地域は、海を隔れる尾山と海邊から 旭川に合流する土砂川によって形成された、北 大な沖積平野から成り立っています。</p> <p>この地域の遺跡は、丸瓦土を特徴とする古 遺跡が出土したことであります。発掘調査の結 果、遺跡は縄文晩期、弥生中期・後期までの長 期にわたるもので、その範囲は35m×60mに なり、御津地域では最も広い範囲であるこ とが明らかになりました。</p>

# 大原橋

平面図		表示内容
所在地	岡山市北区玉柏 県道27号沿 大原橋西詰	
		

# 旧上出石町

平面図		表示内容
所在地	岡山市北区出石町2丁目3-5	
		<p>岡山歴史散歩 - 支那の歴史をたどる -</p> <h2>旧上出石町</h2> <p>千鳥多留塚により岡山城下町の発展が知られた後、それまでの上出石町を新出石町へ移転し、その後に関東町の上出石町を併合しました。しかし、北部にあった塚原上と呼ばれる河原が広がり始めたため、塚原→正保村に改称することになり、北部を上出石町、南部を中出石町としました。東は堀川に臨し、津山江野に面した村割地でしたが、豊前大津後に豊前にも河原が湧き出たようになり、同割地となりました。</p> <p>小町としては、天保、山石下家、新屋敷、黄の町といった地名がありました。</p> <p><small>岡山県立歴史博物館 岡山市北区</small></p>



# 笠井信一と「濟世顧問制度」

平面図		表示内容
所在地	岡山市北区丸の内2丁目3 烏城公園内 笠井信一氏銅像横	
		<p>岡山歴史散歩 一丁町めぐり</p> <p>*****</p> <p>*****</p> <p>笠井信一と「濟世顧問制度」</p> <p>昭和16年（1941）6月19日、笠井信三郎の三男として福岡県高土郡に生まれました。大正3年（1914）から大正8年（1919）までの6年、岡山県知事を勤めました。</p> <p>大正5年（1916）5月28日、他の教員会議において、大正天皇から岡山県内の生活困窮者の生活扶助を命じられたことを契機とし、翌年に全国に先駆けて「濟世顧問制度」を創設し、防務救済活動部を行いました。</p> <p>これが戦前に及ぶ社会事業制度の始まりであり、戦後の民衆委員制度に継承されました。</p> <p>資料提供：岡山県立歴史博物館</p>

# 中川横太郎

平面図		表示内容
所在地	岡山市北区南方1丁目8-42付近	
<p>凡例  <span style="color:red">✕</span> :設置位置</p>		<p><b>中川横太郎</b></p> <p>父屋中川 行太郎、母山後上代也、大正初          編之館の庶務として留學時代の札幌にて生まれ          ました。</p> <p>政治小説の作家、著人、演劇家として活動の          大半は、その一方で岡山府における裁判官兼、          社会公益事業、雑誌出版、演劇、裁判、物産博          覧の文化事業に専ら活動の場を充てました。</p> <p>新聞記者に関しては、岡山大学校の前身：舊          岡山高等、岡山高等の前身、岡山高等院（前・          岡山高等学校）、岡山高等商業学校、岡山県立          岡山東部（前・岡山大学病院）岡山私立病院に          携わりました。</p> <p>法政評論士兼評論家として、法政評論家兼筆          者として活動すること、演劇、雑誌出版と並行して          活動しました。中でも岡山私立学校の維持発展の          ため、その維持のために多大の努力をこなし、後進を育て          育つことに尽力しました。</p> <p>なお、岡山県立総合文化センターの資料館とな          った岡山県立総合文化センターがあります。</p>

# 高瀬舟発着場跡

平面図		表示内容
所在地	岡山市北区出石町2丁目5-13 既設看板左横	
<p>凡例  <span style="color: red;">✕</span> : 設置位置</p>		<p>岡山歴史散歩 一上りの歴史を知ろう</p> <p>高瀬舟発着場跡</p> <p>江戸時代から昭和初期にわたり、瀬川を上り下りして運送を行った高瀬舟の発着場跡です。</p> <p>石組みの基礎はいわゆる「出石」と言われ、舟の沈没・流し付けや荷物の積み下ろしのために作られました。自然派の下丸割には「割戸」が設けられ、高瀬舟の管理を行いました。</p> <p><small>岡山市北区出石町2丁目5-13</small></p>



# 山陽道の矢坂茶屋

平面図		表示内容
所在地	岡山市北区矢坂東町9-1付近	
 <p>凡例 X : 設置位置</p> <p>30m</p> <p>PASCO IPC</p>		 <p>岡山歴史散歩 山陽道と山陽</p> <h2>山陽道の矢坂茶屋</h2> <p>徳川時代、平倉平によって従来の山陽道のルートに岡山城下へ迂回させられた。新たな山陽道は、三軒・五軒・矢坂を経て従来の山陽道へ再び繋がっていった。</p> <p>江戸時代に入ると、万が一の急病が防げられました。また、万病の薬に自費する医師は、城下町と近郊の村々を結ぶ需要地であり、世襲文化で村人・旅人が集まりました。そのため、正徳には茶店ができた。茶店をする業者が茶店を建てたことにより山陽道は賑わいました。</p> <p>本館では、山陽・岡山屋・茶屋・酒屋・餅屋・村木屋・豆腐・茶屋・八百屋・万両屋・味噌・梅干・山豆・味噌・味噌などの展示を行っています。</p> <p>岡山歴史博物館 岡山市北区</p>

# 土光敏夫さんのふるさと

平面図		表示内容
所在地	岡山市北区大安寺南町2丁目8付近	
<p>凡例  <span style="color: red;">✖</span> : 設置位置</p> <p>大野小</p> <p>30m</p> <p>PASCO IPC</p>		<p>ふるさと  <b>土光敏夫さんのふるさと</b></p> <p>土光敏夫さんは大野小学校の卒業生です。大野小学校は昭和47年(1972)までは国公立の校にありました。土光さんはそこで数学に熱み、数珠山竹編(富山編)に書かれた竹筒ひもを手作りして今年秋に完成いたしました。</p> <p>青年期に大野小学校の教師をしながら勉強をし、その後東京工業大学に進学。日本有数の企業(三菱)に就職し、当時経営の危機にあった企業(三菱)の危機に乗り抜け、成功しました。その業績により2001年(第1)の第2次臨時役員会委員に就任し、日本の経済発展に多大な貢献をされました。</p> <p>ふるさと(母校を思いやる土光さんは、昭和20年(1952)5月に大野小学校の種幹室に電気設備を整え、池光との縁を大切にしました。</p> <p>情報提供: 大野小学校(0854-231-1111)</p>